

始めて針
葉樹を見
る

ドラスの
城郭

を交換したり。

二十一日午前七時二十分發、同八時より路は西に下り、次で西南に上り、午後一時三十分、行程約十四哩を以て、カハルブに着す人家約二十戸あり。沿道は花崗岩多く、且つ坂路皆急なるも、竝に小なりとす。其の山上通過の際、朝來の曇天遂に雪を降らし、西南風と共に冷氣大に加はる、但し本日始めて針葉樹即ち小ヒムロギの疎生するを見たり。

二十二日曇、午前七時二十分發、行程約二十一哩、午後一時二十分ドラスに到る。人家附近合せて約三百戸、郵便、電信局を置き、又其南端に小城郭を認む。蓋し往年英國人の築く所とす。氣温午前四十三度、午後五十度。

二十三日午前九時發、同四十分、一小部落を、十時五分一橋を過ぎて、右岸を上り、十一時十分マタヤンを午後一時七分、一橋を経次で緩なる上傾斜の山腹道を過るに融雪の爲め騎行頗る惱む。斯て一時五十五分、行程約二十六哩、マチオイに着す。此處は人家なく、唯々官店及び電信修理所あるのみ。本日朝來微雪あり、且つ融雪の爲め路上泥濘、殊に坂路の昇降甚だ艱めり。